

令和元年度第1回伊勢志摩定住自立圏推進協議会 議事録

日時：令和元年12月24日（火）15：00～15：43

会場：玉城町役場2階 住民ホール

（進行役：浦井情報戦略局長）

お待たせいたしました。

定刻になりましたので、ただいまから、伊勢志摩定住自立圏推進協議会を始めさせていただきます。

本日は、皆様にはご多用のところお集まりいただきまして、ありがとうございます。

私は、本日司会を務めさせていただきます、伊勢市情報戦略局の浦井でございます。議事に入るまでのあいだ、しばらく進行させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、本日は、圏域の首長様にご出席いただいておりますが、大紀町長様におかれましては、公務のご都合がございましたため、副町長の服部 吉人（はっとり よしと）様にご出席をいただいております。よろしくお願い申し上げます。

それでは、会長より、議事の進行をお願いいたします。

（会長：鈴木伊勢市長）

本日は、年末の大変お忙しい中、推進協議会にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。

伊勢志摩定住自立圏構想につきましては、3市5町でスタートいたしまして、6年の歳月が経過しようとしています。この間、皆様におかれましては、連携事業の円滑な運営にご尽力いただいておりますこと、厚くお礼を申し上げます。それぞれの行政サービスであったり、行政の施設、こういったものを共有化していくことで、より住民の方への暮らしやすい環境づくりといったことに、さらなる貢献ができればと思っております。

本日は、伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの取組につきましての協議をいたしますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、議事に移らせていただきます。

議題（1）（第1次）伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の結果について、

議題（2）第2次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について

これらは関連する内容であるため、あわせて事務局から説明を願います。

(事務局：辻 情報戦略局参事)

それでは、最初に、議題（１）（第１次）伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の結果についてご説明申し上げます。

お手元の資料１（第１次）伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン具体的取組の結果一覧をご覧ください。

これは、平成 30 年度で計画期間を満了しました第 1 次の共生ビジョンに掲げた具体的取組状況の一覧でございます。

第 1 次共生ビジョンの取組につきましては、昨年度の推進協議会にて「現時点での総括」という形で、ご報告をさせていただいたところですが、その時点で集計できなかった平成 30 年度の実績等を入れた最終結果を、今回ご報告するものでございます。

表の構成につきましては、一番左には、区分として、圏域の課題を整理した 3 つの視点の区分「生活機能の強化に係る政策分野」「結びつきやネットワークの強化に係る政策分野」「圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野」を記載し、その右側には、通し番号とともに、区分ごとの取組事項を記載しております。記載のとおり第 1 次の共生ビジョンでは 30 の取組があったところでございます。

そして、連携して取り組む市町の状況、伊勢市の担当課、各取組事項の事業費、実績額及び成果指標の記載となっております。

事業費、実績額及び成果指標は、第 1 次の共生ビジョンを策定した H26 年度から計画期間終了の平成 30 年度までの数値が入力されており、また、取組ごとに設定している成果指標については、【 】のとおり、それぞれ目標値を定めておりまして、表の一番右側には、最終的に設定した目標を達成できたかどうかを「a：達成」「b：未達成」で記載しています。

成果指標は、全 30 取組のなかに、46 の指標がございまして、目標達成状況につきましては、46 の成果指標中、半分以上の取組で目標を達成しておりますが、16 の指標が未達成となりました。結果としまして、65.2%が達成、34.8%が未達成でございます。

未達成の内容については、通し番号 6 の「ファミリーサポートセンターの利用促進」、8 番の「中小企業勤労者及び事業主への勤労者福祉制度の充実」、12 番「鳥獣被害防止対策」、14 番「伊勢熊野地域への旅客誘致」、15 番「伊勢志摩国立公園の自然保護、PR、地域振興」、16 番「廃止代替路線バスの維持」、25 番「出会い・結婚に関する情報提供等」、26 番「図書館サービスの新たなしくみ構築」、28 番「職員研修の合同開催」、27 番「教職員研修講座の実施」、30 番「青少年健全育成の合同研修会の開催」の成果指標でございまして、これらにつきましては、引き続き策定しました「第 2 次共生ビジョン」にて、その結果を踏まえて取り組んでいる状況でございます。

それでは続きまして、議題（２）第２次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの各取組の進捗について、ご説明申し上げますので、お手元の資料２「第２次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について」をご覧ください。

これは、第２次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンの第５章具体的取組の内容に、令和元年９月末の進捗状況を加えたものでございまして、具体的には、１ページをご覧ください。シートの中段やや下の「実施スケジュール」の具体的取組の進捗状況、そしてその下の取組の実績について令和元年の状況を記載するとともに、現状の課題や今後の方向性の内容を必要に応じて見直しているものでございます。

なお、取組の実績については令和元年９月末時点の数値を記入しておりますが、内容によっては当該時点で数値の集計ができないものがあるため、そういったものは「－」を記入しております。

また、具体的な内容の進捗状況については、Ａ～Ｃの３段階で伊勢市担当課が自己評価をしておりまして、

「Ａ：順調」が、予定どおり又は予定以上に進んでいるもの

「Ｂ：遅れている」が、内容は進んでいるが、予定よりスピードが遅れているもの

「Ｃ：進んでいない」は、取り組んでいる具体的な内容がまったく進んでいないものとなっております。

具体的内容の進捗状況につきましては、全５１件の内容中、その多くが「Ａ：順調」に進捗している状況でして、「Ｂ：遅れている」が５件、「Ｃ進んでいない」内容は０件でございました。

そのため、「Ｂ：遅れている」ものと、現状は「Ａ：順調」であるものの、第１次共生ビジョンによる目標が最終的に「未達成」であった取組について、ご説明いたします。

まず、「Ｂ：遅れている」について、ご説明します。

６ページの「ファミリーサポート提供会員の相互利用」の「提供会員数の拡大」に係る内容が遅れている状況です。当該取組事項は、先ほどご報告しました第１次共生ビジョンの目標値も未達成であったため、現在の進捗も踏まえ２次ビジョンの取組を進めるに当たり、今後は乳幼児検査時やSNSを活用したPRの強化に努め、利用者数を含めて提供会員の確保につながるよう進めている状況でございます。

次に、１２ページの「創業に関する支援」の「創業に関する情報の収集・発信、共有」「創業希望者への補助の実施」が遅れております。

今後、取組を進めるに当たり、連携市町、関係機関等とより連携し、創業に関する情報発信等にも注力して取り組んでまいります。

次に、１３ページの「鳥獣被害防止対策」の「連携して行う事業を検討」することが遅れております。当該取組事項も第１次共生ビジョンの目標が未達成であったため、連携

して行う効果的な駆除等の方法を検討しておりますが、より効果的な具体的事業が出てきていない状況であるため、今後も連携市町における協議を進めていくこととしております。

次に、28 ページ「宮川流域情報の集約及び提供等」の取組について、宮川流域情報の集約及び提供等の内容が遅れております。今後は、協議会の役割自体を見直しながら取組を進めていくこととしております。

「遅れている」内容については以上でございます。

次に、第2次共生ビジョンの進捗は「順調」な状況であります。第1次共生ビジョンによる目標が最終的に未達成であった取組について御説明いたします。

9 ページ「中小企業勤労者及び事業主への勤労者福祉制度の充実に向けた支援」につきましては、センターの会員数が目標達成できるように、例えば企業が行うセミナーでも説明を行うなど、これまで以上に広報、加入促進活動の充実などをサービスセンターと共同で実施していくこととしております。

次に、15 ページの「伊勢熊野地域への旅客誘致」については、熊野古道来訪者数の目標達成に向け、世界遺産登録15周年の節目として創作劇やイベントといった記念事業を開催等することを進めております。

次に、16 ページの「伊勢志摩国立公園の自然保護、PR、地域振興」については、1次ビジョンでは「自然観察会の参加者数」が目標未達成であったため、備考に記載のとおり、一回当たりの募集枠を増やすとともに、雨天順延などの対応を行う方策を取っていくこととしております。

17 ページ「廃止代替路線バスの維持」については、利用者数の目標達成に向けて、本年10月から近隣を運行している松阪伊勢線と玉城線を路線統合し「伊勢玉城線」として運行をしております。

次に、26 ページ「出会い・結婚に関する情報提供等」の取組のセンター利用数が第1次共生ビジョンで未達成であったため、第2次ビジョンでは、これまでの情報紙発行、SNSによるイベントの告知などのほかに、女性優先日、親御さん優先日などを設けて、利用しやすい工夫を進めております。

次に、27 ページ「図書館サービスの新たな仕組み構築」につきましては、第1次共生ビジョンでは、成果指標を「市町外住居者登録数」及び「市町外住居者貸出冊数」としており未達成でありましたが、第2次ビジョンではそもそも進めている圏域内の住民が各図書館で連携市町の蔵書を借りることができるサービス体制がまだ100%整っていないため、まずは早急にその体制を構築することを目指すこととしております。

次に、29 ページの「職員研修の合同開催」についてですが、参加者数を増やすために新規採用職員を対象として合同研修などの取組も進めております。

30 ページの「教職員研修講座の実施」についても、第1次共生ビジョンにて「開催回数」「連携市町からの参加者数」が目標未達成でありましたが、第2次共生ビジョンを進めるにあたり、開催する講座内容をより精選して取り組むこととしております。

最後に 31 ページの「青少年健全育成の合同研修会の開催」につきましては、参加者数の目標達成に向けて、今まで合同研修の周知等も主に開催地に委ねていたところがあったため、今後はより連携協力して周知活動を実施していくこととしております。

以上でございます。

(会長)

ただ今の説明に関しまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、次の議事に移らせていただきます。

(3) 取組の状況について事務局から説明してください。

(事務局)

それでは、(3)「取組の状況について」、昨年度新たな協定を締結し進めています「児童発達支援センターの設置、運営」の状況と、圏域で進めております「伊勢志摩ご当地ナンバー」について動きがございましたのでご報告させていただきます。

先ほどの資料2の7ページ及び参考①をご覧ください。

当該取組事項につきましては、「児童発達支援センター」を設置し、連携市町における中核的な支援機関として専門的な知識に基づく技術的な助言、援助を障害児通所支援事業者等へ行うこととしております。

令和元年度の実施スケジュールは、児童発達支援センターについての検討を行うこととしており、順調に進捗している状況ですが、そうした中、建設の内容が決まりましたのでご報告させていただくものでございます。

児童発達支援センターについては、現在伊勢市内にある「伊勢市生涯学習センター(いせトピア)」の南東側が建設場所となっており、建物の床面積は773平方メートルの予定でございます。

今後、来年4月から建設を開始し、年内11月に完成予定としております。

次に、「ご当地ナンバー等の導入に係る取組について」でございますが、資料2の25ページ「圏域内外への地域情報等の情報発信」をご覧ください。当該取組にて伊勢志摩ご当地ナンバーに係る内容を進めているところでございます。

この伊勢志摩ナンバーは予定としては令和2年5月頃に交付予定とされておりました、

これが、見本プレートでございますが、図柄入りのプレートのデザインについては、既にご存知かと存じますが、このように決定しております。

来年の5月頃から交付予定ですので、5月以降に新たに車両を購入し、自動車のナンバーを付ける際は、連携して進めた伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、南伊勢町、明和町の圏域では、ナンバーの地域名表示が現在の「三重」から「伊勢志摩」となります。一斉に変更を強制するのではなく、新規登録のほか、移転登録や変更登録等によるナンバープレート変更の際に、順次交付するものでございます。

なお、その際「三重」を選択することはできません。

ナンバープレートは、現行と同じ無地のもの、また、図柄入りは寄附金なしがモノトーン、寄附金ありがフルカラーで、この3種類からお選びいただくこととなりますが、交付手数料等がそれぞれ異なってまいります。寄附金については、1,000円以上とされており、その寄附金は当該地域の地域交通のサービス改善、観光振興などに活用されることとなっております。

伊勢志摩定住自立圏の取組としては、今後この図柄入りナンバーのPR等を進めたいと考えております。

以上でございます。

(会長)

ただ今の説明に関しまして、ご質問等ございますか。

それでは、次に(4)「定住自立圏形成協定の変更予定について」について、事務局から説明願います。

(事務局)

それでは、資料3をご覧ください。

今年度の各部会における協議により、一部取組事項について、改めて連携に加わる意向を示されている市町がみえる状況でございます。

具体的には、資料2の1ページ「休日・夜間応急診療所の維持運営」について、鳥羽市さん、志摩市さんが当該自治体に設けられていない歯科診療の運営について、連携して取り組む意向を示されております。

また、資料2の7ページの先ほどご説明しました「児童発達支援センターの設置、運営」については、改めて玉城町さんが参加の意向を示されている状況でございます。

なお、連携して取組を進めるに当たっては、協定書の変更が必要となってまいります。変更協定書のイメージとしましては、資料3のとおりで、鳥羽市さん、志摩市さんについては、生活機能の強化に係る政策分野に医療体制の確保に係る内容を、玉城町さんに

についても、同分野の施策子育て環境の充実に発達支援センターに係る内容を追加するものでございます。

正式な連携の可否については、来年1月中旬までに最終的にご判断いただき、関係市町議会における議決を経て、3月末までに協定書の変更締結を行いたいと考えております。

以上でございます。

(会長)

ただ今の説明に関しまして、ご意見、ご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。

よろしいでしょうか。

それでは、(5)伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会における主な意見について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料4をご覧ください。

こちらには、伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会の委員からの主な意見を記載しています。

資料上段が、共生ビジョン懇談会の委員名簿でございまして、中心市である伊勢市からは10名、連携市町からは各市町お一人ずつの、計17名の委員構成となっています。

今年度は、12月2日にビジョン懇談会を開催しておりまして、会議でいただいた主なご意見を、資料の下段に整理しておりますので、ご報告させていただきます。

「産業・観光」の分野では、3件のご意見をいただきました。1つは、事業承継の問題が増えてきているので、広域的に取り組むことが大切であるというものでございます。

2つ目は、伊勢志摩サミットから、大きなイベントが続き圏域を訪れる観光客が増加しているが、今後、オリンピック、国体以降も活性化をしていけるよう、圏域の連携を更に進める必要があるとのご意見です。

3つ目は、最近、鳥羽湾には外国人が多く乗られたクルーズ船がやって来る回数が増えており、通訳を多く必要とする中で、学生ボランティアへお願いしている状況のところ、非常に好評で、また、学校からも評価されているとのことであるため、こうした観光と教育の連携といった、分野を越えた連携をすることで課題が解決できるのではないかとのご意見でございました。

「農林漁業」の分野でも2件のご意見がありました。1つは、鳥獣被害防止対策について、罠にAIを組み込んで、罠に入るとスマホへ情報を送るといったものもあるため、そういった研究等を進められたいという意見でございます。

もう1件は、漁業について、近年は異常気象で水温が上昇しており、魚が取れる時期が遅れて不漁となっている、また、従事者の高齢化が顕著で、担い手がいない厳しい状況となっていることが大きな課題であるとのことのご意見でございました。

以上でございます。

(会長)

ただ今の説明に関しまして、ご質問等ございましたら、お願いしたいと思います。

それでは、(6)「伊勢志摩定住自立圏についての情報交換及び提案」でございます。首長同士の情報交換の場ということで、委員の皆様からご意見、ご感想など、自由にご発言をお願いしたいと思います。

ニュースを見ていたら鳥羽市さんの高校生のボランティアの話をやっていたので、そういうことを聞かせていただけたらと思います。

(中村鳥羽市長)

先ほどの産業・観光の中でも話がありましたが、ダイヤモンドプリンセス号が入ってきていて2,500人から3,000人の外国人を中心としたお客さんが鳥羽市に来ています。鳥羽の人たちは当然それをチャンスと捉えて、その人たちにどんなおもてなし、観光を提供できるかということそれぞれの考えの中でいろんなチャレンジをしています。

その中で、教育の部門では、高校生や中学生が対応することができるのではないかとということで、プラカードを持って「シャッター押す係をやります」とか「バス乗り場はこちらです」といった様子がNHKのニュースで流れていました。当然、今回やったことで次はこうやっていこうという前向きな良い意味の欲を出して、今度はこんなところを案内してみようとかそれぞれチャレンジしている状況で、とても楽しみです。

(会長)

ありがとうございました。そういったところで、おもてなしとして、度会町のお茶や大内山の牛乳をふるまうとかそんな話もまたできればと思います。

志摩市さんのMaaSの取組の現状はどうでしょうか。

(竹内志摩市長)

1月9日から第2フェーズが始まるということで、第1フェーズはWebから検索・予約・決済という流れでしたけれど、第2フェーズはアプリからダウンロードして使えるようになるということです。まだまだ利用度が上がっているということではないのですが、第2フェーズでは乗合いのジャンボタクシーで横山の展望台まで上がれるような形になるので、そこでまた利用度が上がるのではないかとという気はしています。

MaaSはいろんなところにつながっていくというのが一つの大きな展開で、生活路線が

しっかりつながれるのか、あるいは他社との接続といったことも今後の課題だと思います。早い時期に、この圏域の中で使えるようにしようというのが事業者の考えなので、圏域全体で利用度が上がらないと意味がないことだと思います。来年度あたりに全体的な伊勢志摩 Mass のような形の運用が期待されるところです。

(会長)

当市をはじめ鳥羽市さん、志摩市さんも地域公共交通会議で名古屋大学の先生に見てもらいながら話をしていますが、今後、公共交通の結びつきができればありがたいと思います。

伊勢志摩ナンバーについては5月頃に交付されるということですが、PRの企画を何か入れておいた方がよいと思うので、こういったアピールの仕方がよいのか検討していただきたいと思います。

(辻村玉城町長)

伊勢志摩ナンバーの図柄には名所等が載っているが、玉城町には、結婚した人がお参りをすると子供を授かるという観音様があります。実際にお参りして子供を授かった人を何人か知っているのので、皆さんにぜひお参りをしてほしいと思っています。

(会長)

ありがとうございました。南伊勢町さんのワインの状況はどうでしょうか。

(小山南伊勢町長)

ワインや酒を造っていますが、残念ながら赤ワインができませんでして、今年は全部ハチに食べられてしまいました。スズメバチが赤色のブドウを食べるということを知らなくて、対策をしたが既に遅くて来年は白ワインだけです。

(会長)

ありがとうございます。他によろしいでしょうか。

それでは最後に事務局からよろしいか。

(事務局)

協議いただきました内容を基に来年度も、伊勢志摩定住自立圏の各取組を進めていきたいと存じますので、今後とも関係市町の皆様にご協力をいただきますようお願いいたします。

また、最後になりますが、本日の協議会の結果については、後日、伊勢市のホームページに掲載させていただく予定です。

(会長)

本日の協議会の結果概要については、事務局が作成のうえ、私が確認をいたします。
それでは、これをもちまして、本日の会議を閉会させていただきます。
本日は、ありがとうございました。